

令和2年度第3回自立支援協議会相談支援部会 議事要旨

1. 開催日時 令和3年2月2日（火）書面開催

2. 出席者（委員）＊団体名のみ記載

リーダー：(福)パーソナル・アシスタンスとも

サブリーダー：(福)サンワーク

いちょうの会、浦安市視覚障害者の会トパーズクラブ、浦安市身体障害者福祉会

浦安手をつなぐ親の会、社会福祉法人敬心福祉会、NPO法人千楽、

NPO法人発達わんぱく会、NPO法人かぶあ、NPO法人タオ、社会福祉法人佑啓会

浦安市社会福祉協議会、介護給付費等の支給に関する審査会

新浦安駅前地域包括支援センター、中核地域生活支援センターがじゅまる

中央地域包括支援センター、こども発達センター、社会福祉課 総合相談窓口

(事務局) 障がい事業課

3. 議題

(1) 第4回自立支援協議会の協議内容の報告

(2) 第2回相談支援部会の振り返りについて

(3) 相談支援事例集「支援が必要な人に出会った時に見る事例集」について

(4) 令和元年度・令和2年度相談支援部会の振り返り

4. 配布資料

議題（1）資料 第4回浦安市自立支援協議会（令和2年11月26日（木））報告

議題（2）資料 第2回相談支援部会の振り返り

議題（3）資料1 相談支援事例集「支援が必要な人に出会った時に見る事例集」について

議題（3）資料2 支援が必要な人に出会った時に見る事例集

議題（4）資料 令和元年度・令和2年度相談支援部会の振り返りについて

5. 議事概要

(1) 第4回自立支援協議会の協議内容の報告

■説明

第4回の自立支援協議会の内容について、事務局より報告をおこなった。

■主な意見（委員：委）

委：本人部会の議題2について東野パティオのGHの入居者区分が16名中15名が区分4以上である事に受入側のスタッフの方には大変負担が大きく、十分な体制が取れているのか心配している。また、それだけ高区分の方の需要が高く、待機していらっしゃる方の多い中、2年後に速やかに現利用者が移動できるのか、相談員としては今から大きな課題となる。

委：昨年末に全国手をつなぐ育成会連合会の主催で「啓発キャラバン隊オンライン研修会」があった。浦安では中々こうした活動が進んでいないが、県内他市では熱心に取り組まれている育成会もある。啓発活動について更に取り組みが必要と考える。

委：リモート会議について。リモートの課題点はあるが、次年度に向けての検討が必要だと思われる。

(2) 第2回相談支援部会の振り返りについて

■説明

前回の第2回相談支援部会の内容について、報告をおこなった。

■主な意見

委：発達障がい者等地域活動支援センターミッテ Mitte について、せっかくの素晴らしい施設なので、現在の運営方向をもう少し多様化して、就労継続支援A・B型の知的障がいの方でも利用しやすい環境だとありがたい。開館時間の延長、土曜日のカリキュラムを討論会以外にも設ける等より、多くの障がいをお持ちの方のご利用もご検討頂きたい。とはいっても、精神、引きこもりの方が安心して利用できる環境維持の為には障がいの中でも差別化も必要ということも理解出来る。

委：障がい福祉サービスから介護保険へ移行すると、サービスを利用する際自己負担金が発生する、今までよりサービスを受けられる量も減る為、移行の現状は厳しく、ご本人に受入れて頂くのに時間がかかる事を実感する。ご家族が経済的に困窮に追い込まれることもあり、世帯分離と生活保護の検討も見られる。

委：知的障がい者を多数雇用する特例子会社では、障がい者の在宅勤務のあり方が他社も含めて課題となっている。松戸市では、これに関するオンラインセミナーが予定されている。一般サラリーマンにもサテライトオフィスがあるので、障がい者にもその様な場所があると良いと思う。

委：点字ブロック設置は進んでいるのか、気になる。

(3) 相談支援事例集「支援が必要な人に出会った時に見る事例集」について

■説明

第2回相談支援部会終了後、事例集作成の作業チームで複数回集まり、事例集案を作成したので、意見を伺った。事例集は、自立支援協議会にて最終的にご意見をいただき、完成版となる。

■意見

委：社内研修にて他の相談員にも共有したい。

委：自分の中では、保護者の意向もあり、学校（普通校）との連携が構築されていないので、今後の課題となっている。

委：良く読み込まないと使いこなせない印象がある。専門職向けとしてはこれで良いと思うが、「クイック・レファレンス」の様なものがあったら良いと思った。

※その他、事例集の文言の修正等について意見が多数寄せられた。

（４）令和元年度・令和２年度相談支援部会の振り返り

■説明

令和元年度・令和２年度の相談支援部会の感想と次年度以降に議論していくべき事項について、意見を伺った。

■主な意見

委：毎回新しい情報や他事業所の実情を聞くことができ、勉強になった。

委：医療的ケア、介護者の高齢化、身体の方の就労先や住居問題、介護保険移行問題等、地域課題が少しでも解決に繋がる方法を今後考えて改善して行ければと思う。

委：私たちが見えていない所で多くの課題があるのだと感じた。次年度以降の課題としては、今回の活動を支援の専門職だけでなく、地域にどうつなげていくべきかを検討してほしいと思う。例えば、市内の民生委員がどのような活動をされているのかお話を聞く機会なども設けてはどうか。

委：次年度以降コロナ禍がどのようになるが不透明だが、人が集まらない状況での会議のやり方について、検討してもらいたい。コロナ禍の相談支援の在り方・やり方についても検討してもらいたい。